

## 1. はじめに

近年、高齢化に伴って高齢者の孤立による問題が増えてきています。この原因は高齢者と外部との関係の希薄化であり、高齢者と家族とのつながりを強く保つことでこの問題を解決できるはずでず。そこで私たちは、家族全員で「思い出」を共有することで家族のつながりをより強くしたいと考え、「ふぁみねく」を開発しました。

## 2. システム概要

ふぁみねくは、家族の思い出を長年かけて蓄積していくシステムです。これを通して家族全体で思い出を共有し、家族との絆を深めることができます。ふぁみねくは図1に示す4つの機能によって、家族で思い出を共有する手助けをし、家族のつながりを構築します。

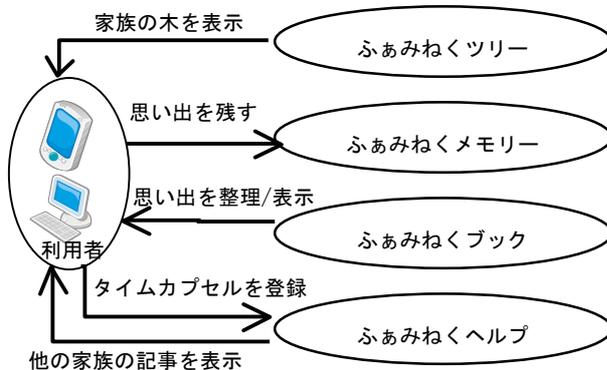


図1 システム概要図

## 3. 機能説明

### 3.1 ふぁみねくツリー

ふぁみねくツリーは、家族とその思い出を「木」として表現します。木の枝1本1本が家族1人1人を、葉が思い出の量を表しています。家族や思い出が増えれば増えるほど木が成長していくので、これまで積み重ねられてきた家族の歩みを実感できます。

また、ふぁみねくツリーはホーム画面の役割も兼ねています。ここから他の機能を利用できるほか、家族のプロフィールを見たり、ふぁみねくからのお知らせを受け取ったりできます。

### 3.2 ふぁみねくメモリー

ふぁみねくメモリーは、個人や家族の思い出を写真や動画、日記や家族新聞として残し、思い出を蓄積していく機能です。日記には個人的な思い出を、家族新聞には家族全体の思い出を書いています。こうして蓄積された思い出は家族で共有され、後述するふぁみねくブックでいつでも振り返ることができます。

### 3.3 ふぁみねくブック

ふぁみねくブックは、ふぁみねくメモリーで残した思い出を振り返る機能です。思い出は本となって残されていて、本棚から本を検索すればいつでも思い出を振り返ることができます。本は家族全員が見ることができ、家族で思い出を共有することにつながります。

### 3.4 ふぁみねくヘルプ

ふぁみねくヘルプは、家族の思い出づくりを以下の2通りの方法でサポートする機能です。

#### 3.4.1 タイムカプセル

開封時期を指定して家族にメッセージを送る機能です。タイムカプセルにメッセージを入れておくと、時期が来たときに自動的にタイムカプセルが開きます。この機能により、たとえ伝えたい人のそばにいなくても思いを伝えることができます。

#### 3.4.2 思い出づくりの提案

他の家族が公開した家族新聞を閲覧する機能です。閲覧した記事を自分の家族の思い出づくりの参考にすることができます。例えば、他の家族が行った旅行先に自分たちも行ってみたいといった使い方ができ、家族の思い出を増やすことにつながります。

## 4. おわりに

ふぁみねくは「思い出の共有」による「家族とのつながり」を構築します。このシステムによって高齢者と家族との交流がよりさかんになり、絆が深まることを私たちは願っています。